

2022年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任				
理科	物理基礎	2	1年次	塩谷 和樹・藤島 譲				
使用教科書	数研出版「物理基礎」		使用副教材	数研出版「リードLightノート物理基礎」				
科目の目標			道徳教育のねらい					
日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い物理学的に探求する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			科学技術の功罪等などにも折りに触れながら科学技術を正しく利用出来る資質を身につける。					
学習活動内容			市函DP					
			1	2	3	4	5	6
			主体的 学習力	基礎力	思考・ 分析力	発信・ 表現力	自己認知 ・協働力	計画 実行力
1	直線運動の世界		○	○	○	○		
2	力と運動の法則		○	○	○	○		
3	日常に潜む力		○	○	○	○		
4	仕事とエネルギー		○	○	○	○		
5	熱		○	○	○	○		
6	波		○	○	○	○		
7	電気		○	○	○	○		
8	エネルギー		○	○	○	○		
9	グループワーク		○	○	○	◎	◎	◎
10	考査		○	○			◎	◎
評価の観点	知識技能		思考判断表現			主体的に学習に取り組む態度		
	物理現象に対して、知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができていないか。		習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけていないか。			知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしているか。		
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。							
		授業での取組	課題への取組	定期考査	単元テスト	小テスト	その他の資料	
	知識技能	○	○	◎	○	○		
	思考判断表現	○	○	◎	○	○	○	
主体的に学習に取り組む態度	◎	◎		○	○	◎		

物理基礎 授業計画

授 業 計 画					実 施 状 況	
	月 (時 数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4月 8	物体の運動とエネルギー	運動の表し方を理解する。グラフや式で運動を分析する。	直線運動の世界	8	
	5月 21			力と運動の法則	13	
	6月 22	前期中間考査	ベクトルを用いて、力のつり合いを理解する。運動の3法則について理解する。落下運動、水平投射、斜方投射について式を使って扱えるようになる。	日常に潜む力	1	
	25			仕事とエネルギー	3	
	7月 33	前期期末考査			8	
	8月 33					
	9月 34				1	
	34	さまざまな物理現象とエネルギー	熱を定量的に扱える。	熱	10	
	10月 44			波	10	
	11月 54	後期中間考査	波の性質を理解する、		1	
55				10		
12月 65	後期期末考査		電気	1		
1月 66				4		
2月 70			エネルギー			
3月 70						